

にしおの

東向寺に眠る 戦国大名・今川義元の首

おっ!



「今川義元木像」
今川家の菩提寺・臨濟寺(静岡市)所蔵
(静岡県立中央図書館歴史文化情報センター提供)

時は永禄3(1560)年。駿河(現在の静岡県中部)の戦国大名・今川義元は、2万5000人ともいわれる大軍を率いて尾張に進軍。織田信長軍の城を次々と陥落させていったが、5月19日、豪雨の中で約3000人の信長軍にまさかの敗北を喫する。

駒場町の小高い山の麓に建つ東向寺。「駒場の観音さん」の愛称で親しまれ、毎年4月に開催される「観音大祭」は、多くの人でにぎわいます。取材に訪れたのはその翌日。祭り後のひっそりとした境内を、住職の中村正豪さんに案内されて奥へと進みます。少し山を登ると、色鮮やかな仏花が供えられた数基の仏塔が見えてきました。義元的首塚とその家臣の墓と伝えられるものです。この首塚と墓にまつわる言い伝えが東向寺に残っています。

桶狭間の戦いで敗れた義元的首は、見せしめのため須ヶ口(現在の清須市)でさらされました。その後、「戦いの後も鳴海城(現在の名古屋市緑区にあった城)に残って抵抗していた今川方の武将・岡部元信に義元的首が返され、元信は駿河へ帰る途中の東向寺で首と戦死者を供養した」そうです。駿河に持ち帰らなかった理由は「夏場で腐敗が激しかった」当時の東向寺住職が義元の伯父だった「なご諸説ありますが、明確な記録はなく、真偽は定かではありません。しかし中村住職によると、墓守としてこの地に留まったといわれる2人の家臣のうち、1人の子孫が明治時代まで東向寺周辺に住んでいたそうです。」

そもそも今川氏と西尾には深い関わりがあります。今川氏は一般に、駿河を拠点に隆盛を誇った一族として知られていますが、発祥の地は西尾にあります。鎌倉時代に吉良荘(現在の西尾市の大部分)を治めていた吉良氏。その始祖である長氏は、次男・国氏に吉良荘内の今川荘(現在の今川町周辺)を与えます。国氏は荘名を取り「今川」を名字としました。今川氏の誕生です。その後、3代目の範氏が遠江(現在の静岡県西部)守護、次いで駿河守護となつて勢力を伸ばし、11代目の義元の時代に最盛期を迎えるのです。



西尾中学校の南側に立つ「今川氏発跡地」の石碑



東向寺に残る義元の位牌。亡くなった約100年後の寛文2(1662)年製作



今川義元のものといわれる首塚(右端)とその家臣のものといわれる墓(左側)



“ごみ端会議” 開いています

ごみ減量を考える会

旧幡豆町では15年前、「不燃袋」が使われていました。そこで出される不燃ごみのうち6割〜7割が資源物であることを知りびっくり！「ごみを減らして、クリーンな暮らしをするため、誰でも気軽にできることはなんだろう？ ごみのことを気兼ねなく話し合える場があったらいいね」。こんな声がかきつかけで、ごみ減量を考える会は誕生しました。

その後、いろんな気持ちや力がつながり、町内の資源ステーションで種類ごとのコンテナにごみを分別できるようになったため、今では不燃袋を買わずに済むようになりました。会員は現在14人。月1回ほど、地域のごみ情報やクリーンセンターで聞いたことを持ち寄り、学習会を開いています。学習といっても、おぼさんの集まりは、まさにごみの話の井戸端会議「ごみ端会議」。物は使い捨てから使い切り生かす時代へと変わり、ごみの話は尽きません。昨年は、断捨離で出た布や牛乳パック、新聞紙などを再利用して小物を作り、環境Wave 21で出品しました。

偶数月の第1木曜日午後1時から、幡豆いきいきセンターで定例会を行っています。気軽に声を掛けください。
問 加藤 (☎62・3306 / 西幡豆町)

このコーナーに登場してくれるサークル・ボランティア団体を募集しています。詳しくは、秘書課広報担当 (☎65・2159) へ。



亀島 颯人くん
(伊藤四丁目)

平成28年5月生まれ
いつも元気モリモリ颯人くん。3人でいっぱい遊びに行こうね！



鈴木 あんずちゃん
(吉良町)

平成28年5月生まれ
かわいい、かわいいあんずちゃん♡ 家族みんなの宝物だよ。



濱崎 耀太くん
(米津町)

平成28年11月生まれ
本が大好きな耀太。これからたくましく元気でいてね。



菅谷 陽菜乃ちゃん
(寄近町)

平成28年10月生まれ
これからもいにと仲良く笑顔いっぱい元気にすくすく育ててね♪



松尾 実思ちゃん
(楠村町)

平成28年10月生まれ
食べるの大好き実思ちゃん！ 姉妹そろって、元気に大きくなあれ♡



中津 奏海くん
(一色町)

平成27年7月生まれ
お兄ちゃんと一緒に遊ぶのが大好き。笑顔でニコニコがステキだよ。



鈴木 望央ちゃん
(平坂吉山一丁目)

平成28年11月生まれ
食べる事大好きなみおちゃん♡ 兄妹仲良く元気いっぱい育ててね☆



鳥居 湊大くん
(東幡豆町)

平成28年5月生まれ
やんちゃでいたずら大好き湊大くん♡ たくさん遊んで大きくなあれ。

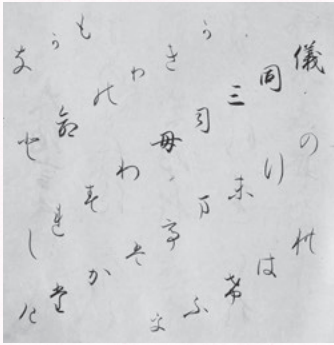
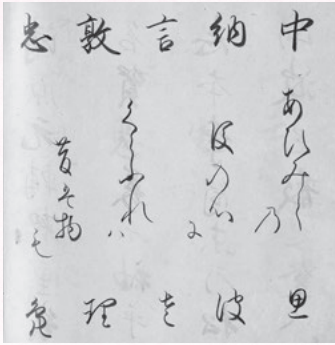
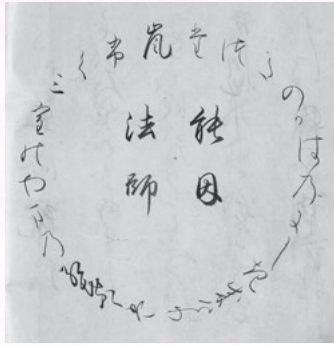
キ
ツ
ズ
ア
ル
バ
ム

岩瀬文庫コレクション

百人一首色紙形

(40-118)

岩瀬文庫学芸員 村瀬貴則



上の写真は、公家柳原資亮（1692～1716）の筆による百人一首です。一首ごとに実に技巧を凝らして書かれています。資料の正確な書写年代は不明ですが、若年の書写であることは疑いありません。若年にもかかわらず、見事な筆遣いです。公家の柳原家は、鎌倉時代から続く中流貴族の家です。柳原家が伝えてきた多くの貴重な資料は、岩瀬文庫の所蔵となっています。

岩瀬文庫では、企画展「公家柳原家の文庫」を6月24日まで開催しています。本資料も出品中です。ぜひ現物をご覧ください。美しい筆跡をお楽しみください。

※写真には、右から順に次の和歌が書かれています（適宜読みやすさのため改変）。

嵐吹く三室の山のもみぢ葉は竜田の川の
錦なりけり 能因法師
あひ見てののちの心にくらぶれば昔はも
の思はざりけり 中納言敦忠
忘れじのゆく末まではかたければ今日を
限りの命ともがな 儀同三司母

岩瀬文庫 (☎56・2459)

月刊!! スポーツにしお Vol.38

バレーボールで西尾を盛り上げたい

市は29年4月に、女子バレーボールチーム「デンソーエアリービーズ」とホームタウンパートナーズを結びました。エアリービーズの選手は試合中、市章と「西尾市」の文字が入ったユニフォームを着用。また、中学生を対象にバレーボール教室を開くなど、市の知名度向上と地域のスポーツ振興に取り組んでいます。

一緒にバレーボールを楽しめる仲間を増やしたい——西尾市バレーボール協会も小・中学生を対象に「ジュニアバレーボール教室」を4年前から開催しています。最初は参加者が5人しかいませんでしたが、現在は中学生10人と小学生12人が、毎週土曜日に一生懸命ボールを追いかけて、汗を流しています。バレーボールの基礎や社会性を身に付けた子どもたちが、さまざまな場面で活躍することを願っています。そしていざれば、西尾市出身の選手がデンソーエアリービーズに入団することで、バレーボールを通じて西尾市がさらに盛り上がり、次世代へつながって



●ジュニアバレーボール教室
対象者 市内在住の小学4年生～中学3年生
時間 毎週土曜日 午後7時～9時
場所 一色B&G海洋センター
費用 入会金3000円、スポーツ保険料1000円、月会費1000円
問合先 川口（日本体育協会公認バレーボール上級指導員）☎090・2943・3619／一色町

問スポーツ課振興担当 (☎54・0002／総合体育館内)

西尾市のデータ

■人口



	4月1日現在	前月比
男性	87,068人	-30人
女性	84,831人	-82人
計	171,899人	-112人
世帯数	63,654世帯	+105世帯

■交通事故の状況



	人身事故 件数	死傷者	
		死者	死亡者
3月	58件	67人	0人
30年累計	185件	224人	0人

■犯罪発生状況



	刑犯総数	侵入盗	特殊詐欺
3月	66件	11件	0件
30年累計 (被害総額)	171件	31件	3件 218万3千円

■消防の状況



	火災	救助	救急
3月	8件	1件	568件
30年累計	14件	8件	1,783件

今月の表紙

広大な自然に包まれた愛知こどもの国で、今なお走り続ける「まつかぜ」号です。1974年に製造された本物の蒸気機関車。小型ながらも、石炭をたき、煙を高々と上げながら走る姿は大迫力です。「ポー」と鳴り響く汽笛。車窓から見る三河湾や三ヶ根山の雄大な景色。お子さんから大人までお楽しみいただけます。

編集雑記

4月から広報広聴グループに仲間入りしました。主に広聴の仕事を担当します。広聴は市民の皆さんから市政やまちづくりに対する意見・アイデアなどをお聴きし、市政運営や新しい施策の検討に生かす仕事です。まだ分からないことばかりですが、仲間に支えられながら日々奮闘しています。市民の皆さんに市の魅力やどんなまちづくりを目指しているかを知っていただくために、「伝える」から「伝える」を心掛け、精一杯頑張ります。(N)

スクールスマイルショット

School Smile Shot

●一色中学校

4月5日に、入学式が行われました。193人の新入生は、校長先生の「一生懸命はかっこいい」という激励の言葉を真剣な表情で聞き、3年間の中学校生活への期待に胸を膨らませていました。



●幡豆小学校

4月6日、入学式が行われました。新しい制服に身を包んだ新1年生は、緊張した面持ちで体育館へ入場。在校生の温かい拍手や歓迎の歌で迎えられ、小学校生活をスタートさせました。



●福地南部小学校

4月6日、入学式が行われ、新1年生53人が新たな学校生活のスタートを切りました。式が終わり教室に移ると、緊張がほぐれて笑顔になり、担任の先生の質問などに元気に答えていました。



【西尾市役所】

URL (パソコン) <http://www.city.nishio.aichi.jp/>
(携帯電話) <http://www.city.nishio.aichi.jp/mob/>

E-mail nishio@city.nishio.lg.jp

■本 庁 ☎0563・56・2111 (代表)
〒445-8501 西尾市寄住町下田22

■一色支所 ☎0563・72・7111 (代表)
〒444-0492 西尾市一色町一色東前新田8

■吉良支所 ☎0563・32・1111 (代表)
〒444-0596 西尾市吉良町荻原川畑20

■幡豆支所 ☎0563・62・5511 (代表)
〒444-0798 西尾市西幡豆町仲田14-2



バーコード対応の携帯電話などで読み取ると「モバイル@西尾市役所」が開覧できます。